

教科	音楽
----	----

目標	<p>表現及び鑑賞の能力を伸ばし、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。</p>
将来の生活に向けて授業で付けたい力	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に対する興味・関心を高め、音楽の良さや美しさを感じ取る豊かな心 ・歌詞の内容や曲想などを感じ取り、イメージをもって歌唱表現しようとする力 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する力

学習評価

	観点	評価について
a: 知識・技能	<p>・曲想と音楽の構造などとの関わりや音楽の多様性について理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、身体表現で表している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に取り組む姿勢 ・プリント記入 ・授業での発言・発表 ・提出物
b: 思考・判断・表現	<p>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を聴き取り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。</p> <p>・どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での発言・発表 ・プリント記入 ・小テスト
c: 主体的に学習に取り組む態度	<p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に取り組む姿勢 ・授業での発言・発表 ・実技テスト

関連する行事等

2年: 文化祭ステージ発表(10月)

使用教科書

1・2・3年 高校生の音楽 I (教育芸術社)

学習内容 <音楽科 1学年>

	月	単元名 (時数)	学習のめあて
前期	4月・5月	ただ はっせい み つ ゆた 正しい発声を身に付けて豊かな 響きで歌おう ・校歌 ・翼をください	(知) 歌う時の基本的な姿勢や呼吸、発声を身に付ける。 (知) 自分のパートの音程を覚える。 (知) 強弱やリズムなど楽譜に表記してある記号を理解して歌う。 (思) 歌詞の内容をイメージしながら歌う。 (主) 歌詞が表す情景や味わいに関心を持ち、意欲的に練習に取り組む。
	6月・7月	がくてん 楽典 ・音符や休符 ・リズム	(知) 音符や休符の名称や意味、長さ等を理解する。 (思) リズム譜を見ながら拍子やリズムなどの音楽の特徴を感じ取って、音楽表現する。 (主) 互いに助言し合いながら意欲的に練習に取り組む。
	9月・10月	そう (こと) した 箏(こと)に親しもう ・虫づくし ・さくらさくら ・六段の調べ	(知) 箏の正しい扱い方、名称を理解する。 (知) 糸の番号と位置を覚え、正しい姿勢や奏法を意識して箏を演奏する。 (思) どの糸も同じ強さや音色で弾けるよう、楽器の傾斜に合わせて爪の角度を調整し、演奏する。 (主) 箏の構造や歴史に興味を持ち、練習に意欲的に取り組む。
後期	11月	かぶき 歌舞伎 ・京鹿子娘道成寺	(知) 長唄の表現の多様性を知り、歌舞伎における音楽の役割について理解する。 (思) 曲想の変化と心情や場面の関係を感じ取り、根拠を持って発表する。 (主) 古典芸能や古典音楽のよさや美しさを味わって鑑賞する。
	12月	ものがたり おんがく かか 物語と音楽の関わり 一映像における音楽の効果一 ・JAWS ・E.T	(知) 物語と音楽のかかわりを、映像作品における音楽の役割や効果から理解する。 (思) 音楽を聴いて感じたことを、音楽を形づくっている要素と関連付けて表現する。 (主) 作曲者による表現の特徴に関心を持ち、曲の美しさを味わって聴く。
	1月・2月	イメージをもって演奏しよう ・Happy Birthday To You ・威風堂々	(知) キーボードを弾くために必要な奏法を身に付ける。 (知) リズムに合わせて、楽譜どおりにキーボードを演奏する。 (思) オーケストラの響きや特徴を感じ取り、イメージをもって演奏する。 (主) 楽譜どおりに弾けるよう、粘り強く練習に取り組む。
	3月	ことば たいせつ 言葉を大切にして歌おう ・卒業の歌	(知) 正しい姿勢や呼吸、発声で歌う。 (思) 歌詞が表す情景や味わいに関心をもって歌う。 (主) 自分が感じたことや友達の気づきを基にどのように歌うかについて考えながら歌う。

学習内容

<音楽科 2学年>

	月	単元名 (時数)	学習のめあて
前期	4 ・ 5 月	イタリア語とドイツ語の歌曲に挑戦 ・野ばら(F.シューベルト) ・野ばら(H.ヴェルナー) ・私を泣かせて(G.F.ヘンデル)	(知)強弱を意識して、ドイツ語のリズムを感じながら、歌詞を音読する。 (思)イタリア語の発音の特徴を捉え、曲の雰囲気を楽しみながら歌う。 (主)ドイツ歌曲とイタリア歌曲の雰囲気や発音の違いに関心を持ち、曲のよさや美しさを味わって聴く。
	6 ・ 7 月	ボディーパーカッションの楽しみ ・ROCK TRAP ・カップス	(知)リズム譜を見ながら拍子やリズム、強弱などの音楽の特徴を感じ取って、楽譜どおりに身体表現をする。 (思)他のパートとタイミングを合わせてアンサンブルをする。 (主)同じパートの友達とコミュニケーションを取りながらリズムや身体表現の練習をする。
	9 ・ 10 月	箏(こと)アンサンブルをしよう ・さくらさくら	(知)正しい姿勢や、曲にふさわしい奏法を身に付ける。 (思)創意工夫した音楽表現をする。 (思)全体の響きや各旋律を聴きながら、友達と合わせて演奏をする。 (主)互いに助言し合いながら意欲的にペア練習に取り組む。
後期	11 月	ポピュラー音楽のジャンル ・ジャズ ・ロック ・ヒップホップ/ラップ ・EDM 等	(知)ポピュラー音楽の成り立ちをたどりつつ、楽曲が生まれた文化的・歴史的背景と関連付けて理解する。 (思)ポピュラー音楽を、日本や諸民族の音楽と比較し、音楽の歴史的流れから日本の音楽文化と生活や社会との関わりを考える。 (主)さまざまなジャンルのポピュラー音楽に関心を持ち、各ジャンルの代表曲の曲調の違いやよさを感じ取りながら聴く。
	12 ・ 1 月	日本の民謡と芸能に親しもう ・日本全国の民謡と芸能 沖縄・奄美群島のさまざまな音楽 ・組踊	(知)民謡が人々の暮らしと結びついて伝承されていることを知り、郷土の文化に対する理解を深める。 (思)それぞれの民謡の種類や囃子ことば、リズムの違いに気づき、まとめる。 (思)音階や楽器に注目しながら、沖縄・奄美群島の音楽を聴き、その特徴を感じ取る。 (主)日本の伝統音楽と様々な国の音楽を比較し、音楽の違いや特徴に関心を持ち、鑑賞したり、表現したりする。
	2 ・ 3 月	西洋音楽に親しもう ・交響曲第9番:ベートーベン	(知)様々な楽器の種類や特徴を知る。 (思)曲の構成を理解し、音楽に込められたベートーヴェンの思いを感じ取る。 (主)曲の構成に関心を持ち、味わって鑑賞する。

学習内容

<音楽科 3学年>

	月	単元名 (時数)	学習のめあて
前期	4・5月	にほんかきよく たの 日本歌曲の楽しみ ・この道	(知) 鼻濁音やs音、t音などの子音に注意し、日本語の美しい発音に留意して歌う。 (思) 強弱の変化が非常に細かく指示されていることを知り、作曲家はどのような情景を表現しようとしたのか考える。 (主) 日本歌曲の表現方法に関心を持ち、日本語の歌い方を工夫し、歌詞に描かれた情景を表現する。
	6・7・9月	アンサンブルの楽しみ ー器楽合奏ー ・威風堂々 ・花は咲く	(知) 自分のパートの役割や他のパートとの掛け合いを理解する。 (思) お互いの音を聴き合いながら自分の担当楽器を演奏する。 (主) 音色やリズム、旋律、強弱などの特徴や雰囲気を感じながら、どのように表すかについて思いや意図をもって音楽表現を工夫する。
後期	10・11月	つばきひめ オペラ「椿姫」 ・第1幕から〈乾杯の歌〉 ・第2幕から〈神様は私に、天使のよ うな娘を〉 ・第2幕フィナーレ～それぞれの思い ～	(知) オペラに描かれた社会のあり方を理解する。 (思) オペラならではの表現を感じ取る。 (思) 第1幕では、恋人たちの出会いの歌にもなっている曲の魅力を感じ取る。 (思) ジェモンとヴィオレッタの2人の二重唱から、それぞれの心情がどのように表現されているか感じ取る。 (主) オペラならではの表現に関心を持ち、じっくり味わって鑑賞する。
		し たんか はいく おんがく つく 詩、短歌、俳句をもとにして音楽を作 ろう	(知) 音楽を形づくっている要素を理解する。 (知) 順次進行と跳躍進行を理解する。 (思) 好きな詩、短歌、俳句などをもとにして、自分のイメージを膨らませながら音楽を作る。 (主) 創作活動に関心をもち、意欲的に音楽を作る。
	12・1・2月	おんがくかい ひら ・音楽会を開こう ー卒業演奏会に向けてー	(知) 正しい奏法で楽器を演奏する。 (知) 正しい発声で歌う。 (思) イメージをもって演奏する。 (主) 1年間の学習のまとめとして音楽会を実施する。それぞれ選択した表現方法と表現形態で独唱、独奏、小アンサンブルなどで音楽表現を工夫したり、クラス全体での合唱やバンド・アンサンブルをしたりしながら、音楽活動の喜びや楽しさを味わう。

